

彦春町西



英訳昔話

ミリサザイも

鷹の仲間

英訳昔話

「ミソサザイも鷹の仲間」

絵・訳：茜町春彦

原作：柳田国男

概要：絵本です。原作は日本の昔話（新潮文庫）の中の1編です。英語に翻訳しました。

A Japanese folk tale:

"The Wren becomes a member of the Hawk group"

Illustrated and translated by : Akanemachi Haruhiko

Original author: Yanagida Kunio



Long long ago, various hawks met together.

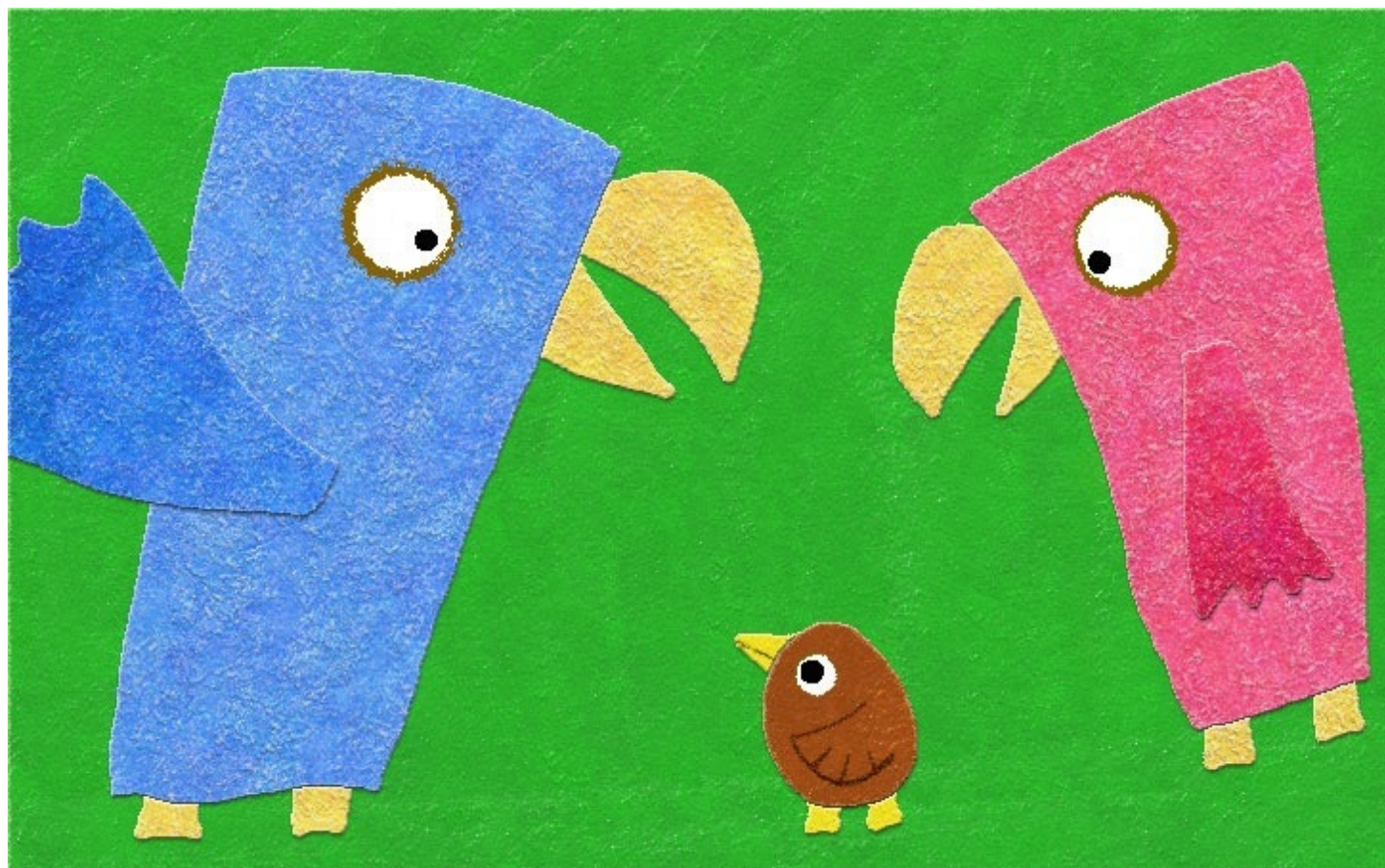
And they were partying.

大昔、色々のタカが集まって酒盛りをしている所へ・・・



A tiny Wren came there and it said "Can I join?"

・・・小さなミソサザイがやって来て、僕も仲間に入れて下さいと言ったそうです。



The hawks looked down on the wren.

And they said "If you want to join us, hunt and bring a boar! If you hunt and bring a boar, you may join in our party."

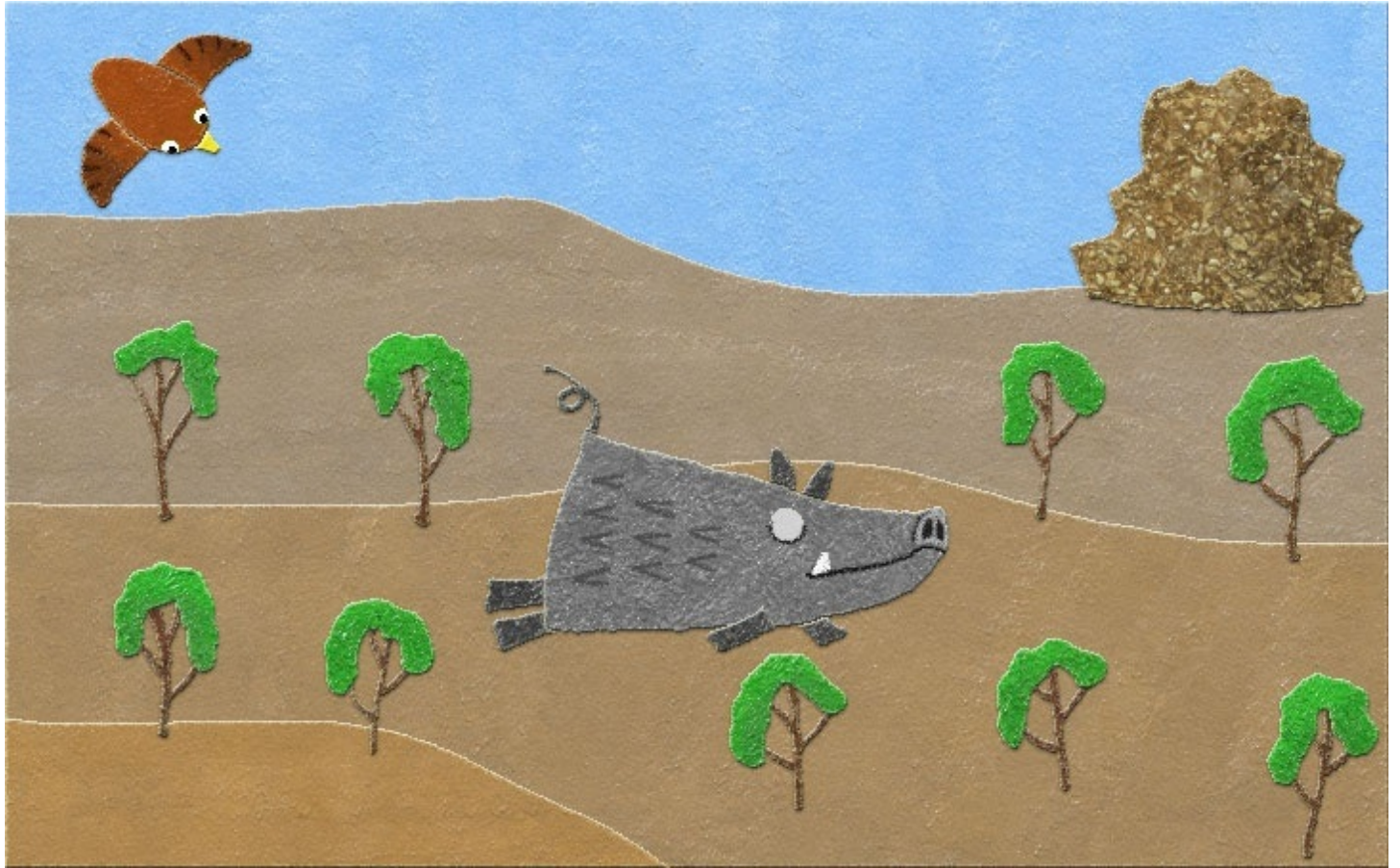
鷹の同勢は、これを馬鹿にして、この仲間に入りたければイノシシを捕ってくるがいい。

猪を捕ってきたら酒盛りに加えてやろうと言いました。



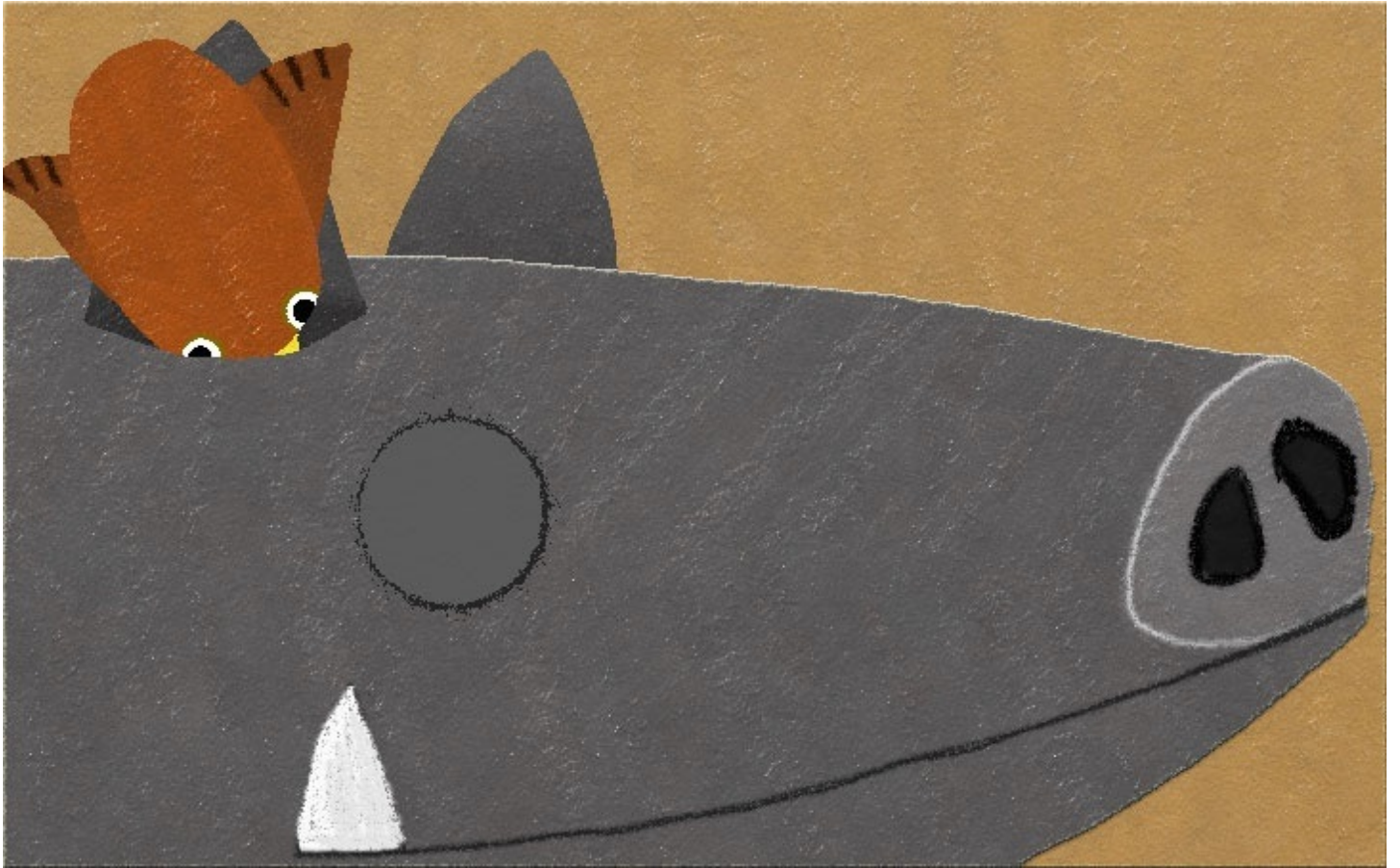
Soon, the Wren flew away.

そうすると、ミソサザイはすぐに飛んで行って・・・



A boar was sleeping in a bush.

．．．藪の中に寝ている猪の．．．



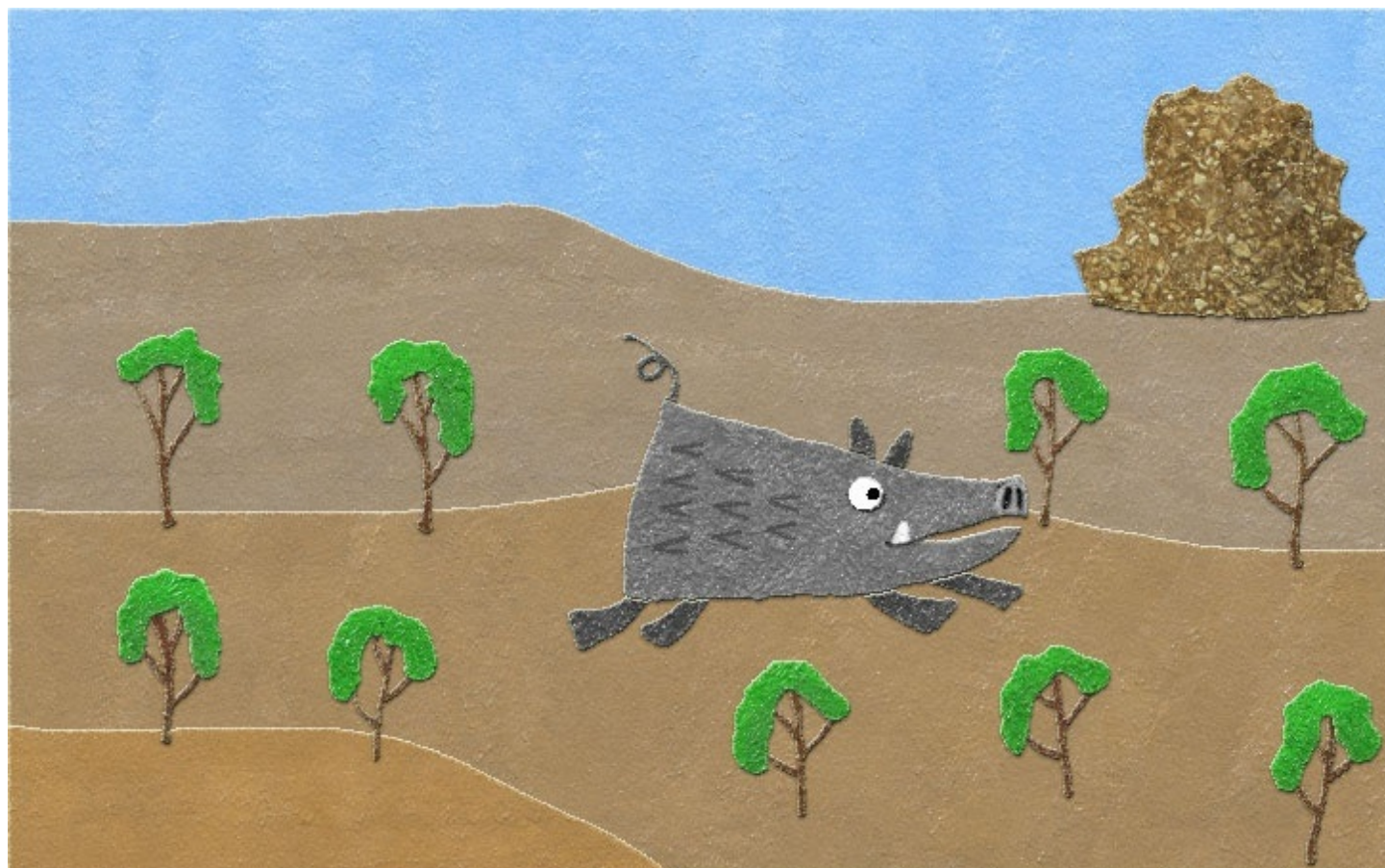
The Wren threw itself into an ear of the boar.

．．．耳の中に飛び込みました。



The boar was surprised at that.

猪はビックリして・・・



And the boar broke into a run.

．．．駆け出しましたが．．．



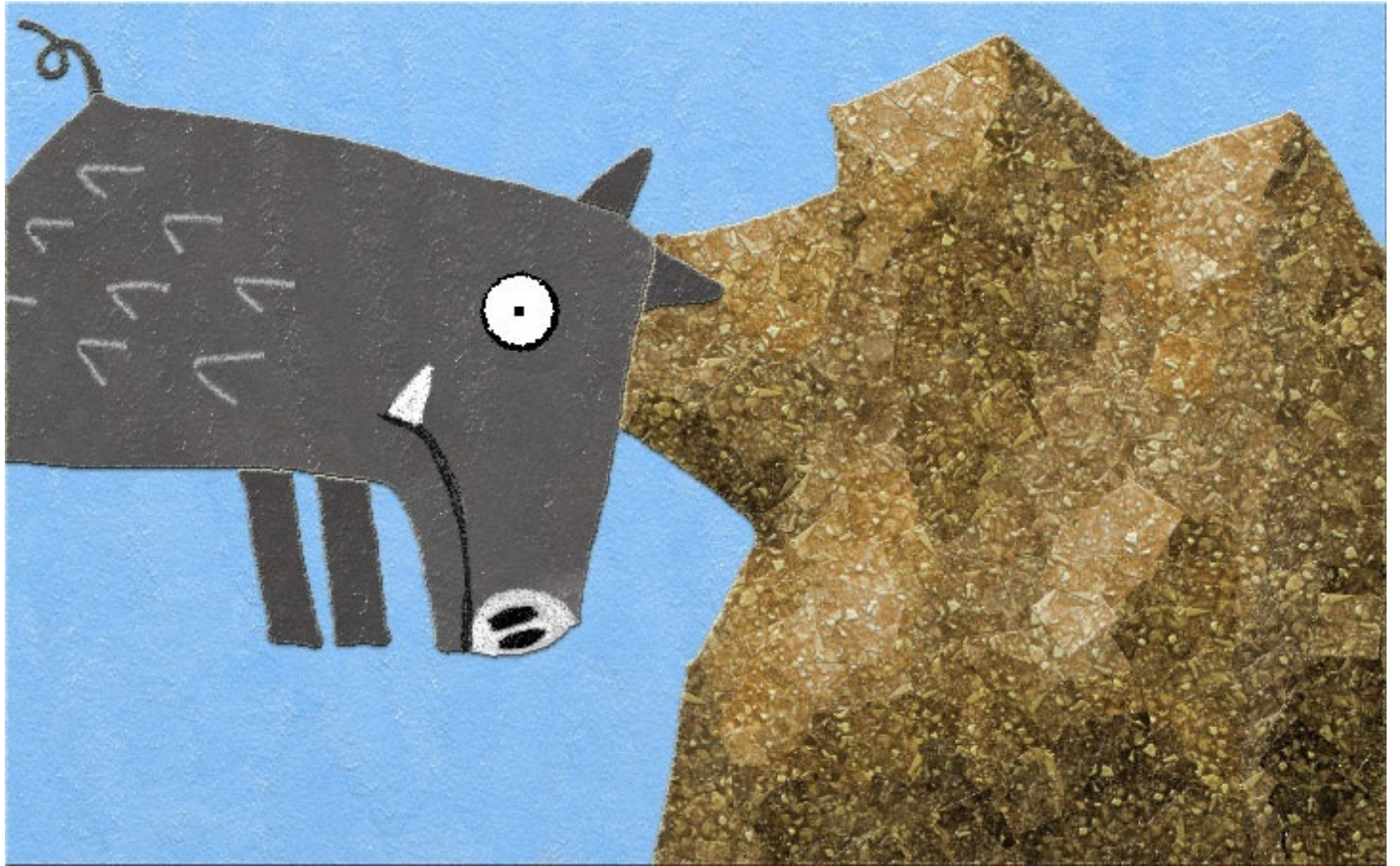
The tiny Wren acted violently in the ear.

．．．小さなミソサザイが耳の中であばれるので．．．



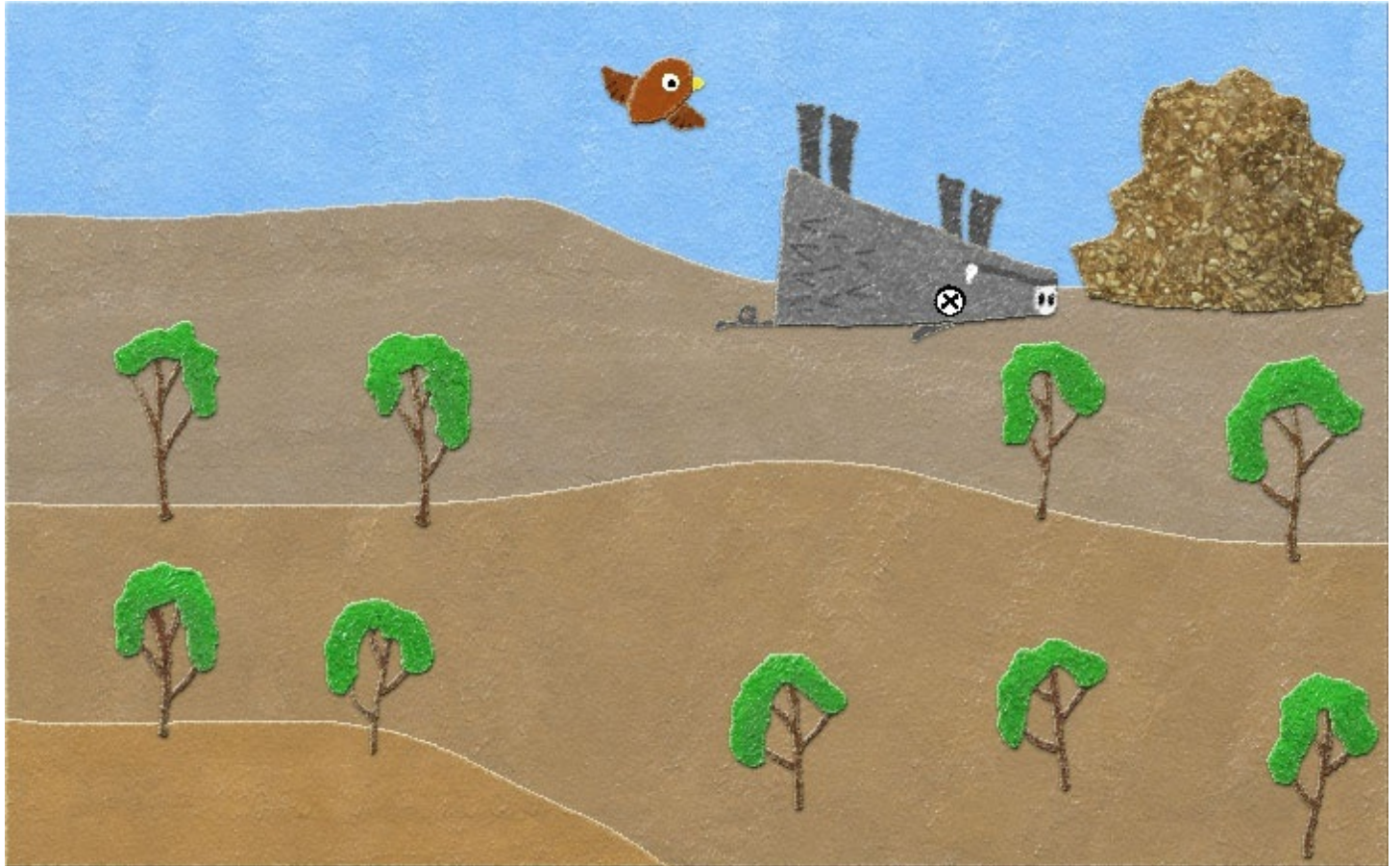
Because of the pain, the boar ran madly.

・・・苦しくてたまらぬから、夢中になって狂いまわり・・・



And, the boar bumped its head against a corner of a rock.

．．．とうとう岩の角に頭をぶっつけて．．．



The boar died in the end.

・・・死んでしまいました。



So, the Wren came back proudly.

それで大威張りで帰ってきて・・・



And, the Wren joined in the party of the hawks.

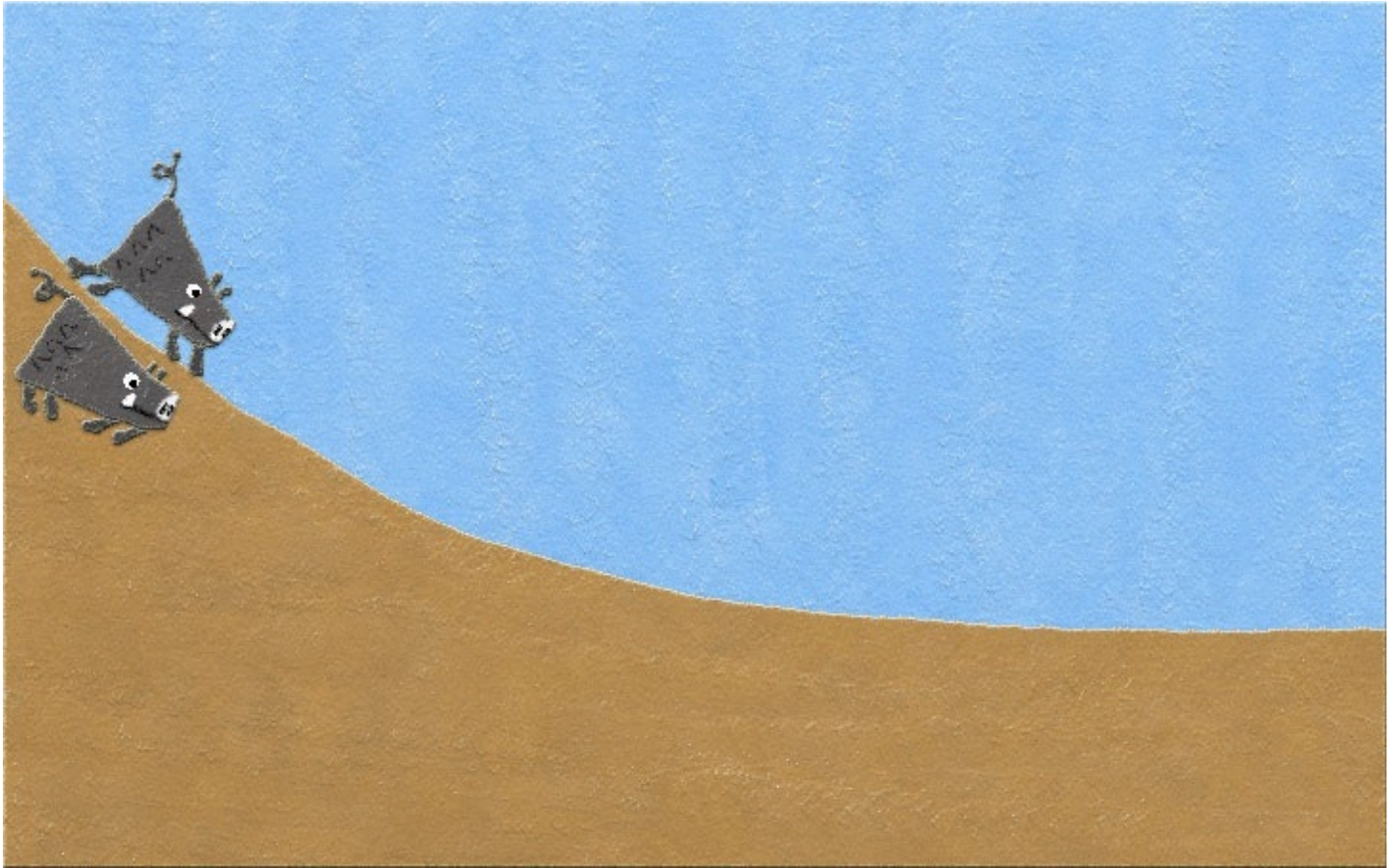
・・・鷹の仲間に入って酒盛りをしたそうであります。



(The following is an extra story:)

At that time, a big Hawk-eagle rushed out with its competitive spirit.

この時にクマタカという大きな鷹が負けぬ気になって飛び出して行ったところが・・・



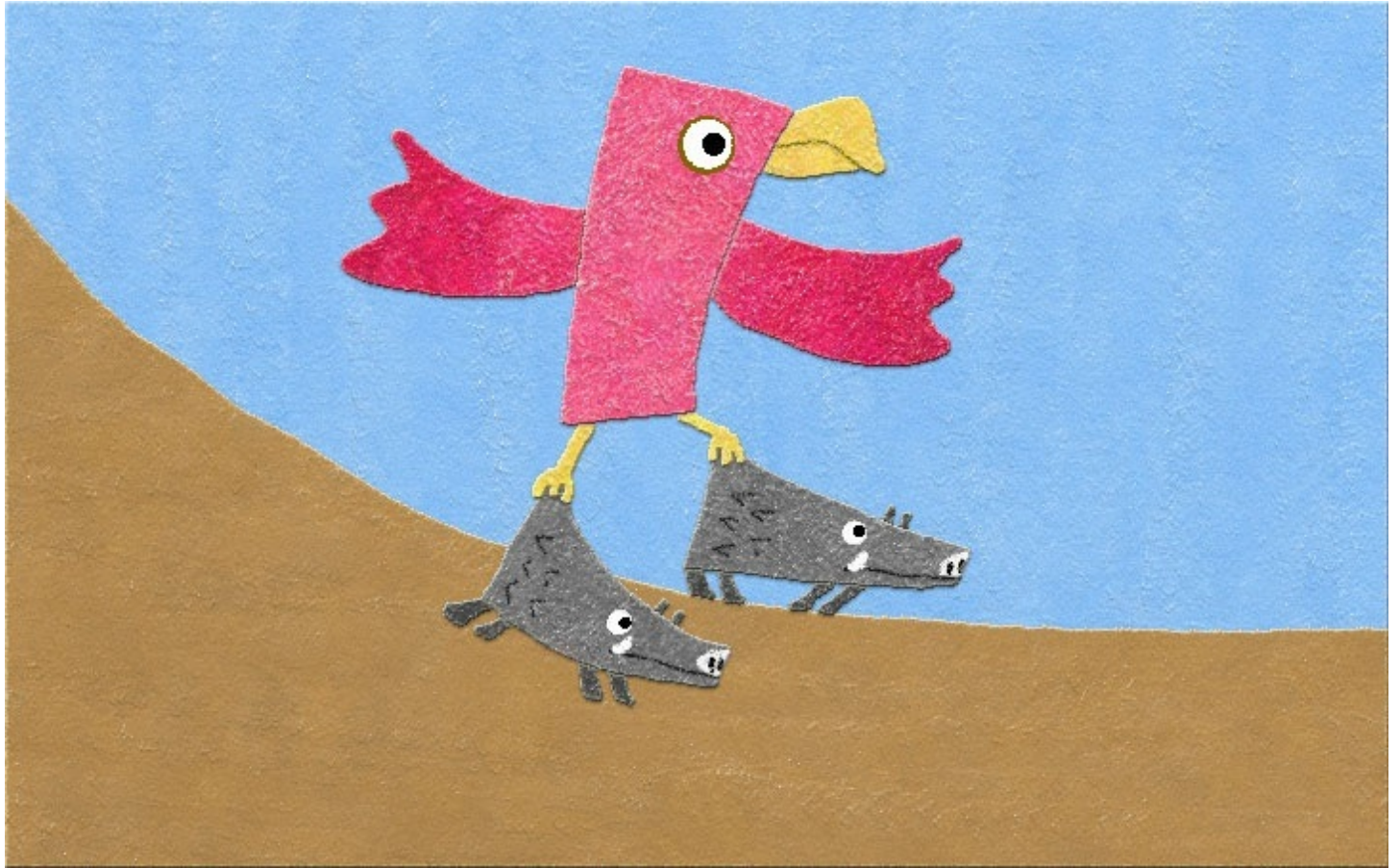
Two boars were running parallel.

・・・猪が2匹つれ立って走っていました。



The Hawk-eagle tried to hunt the both at the same time.

それをいっぺんに、ふたつとも捕ろうと思って・・・



Its right talons caught one.

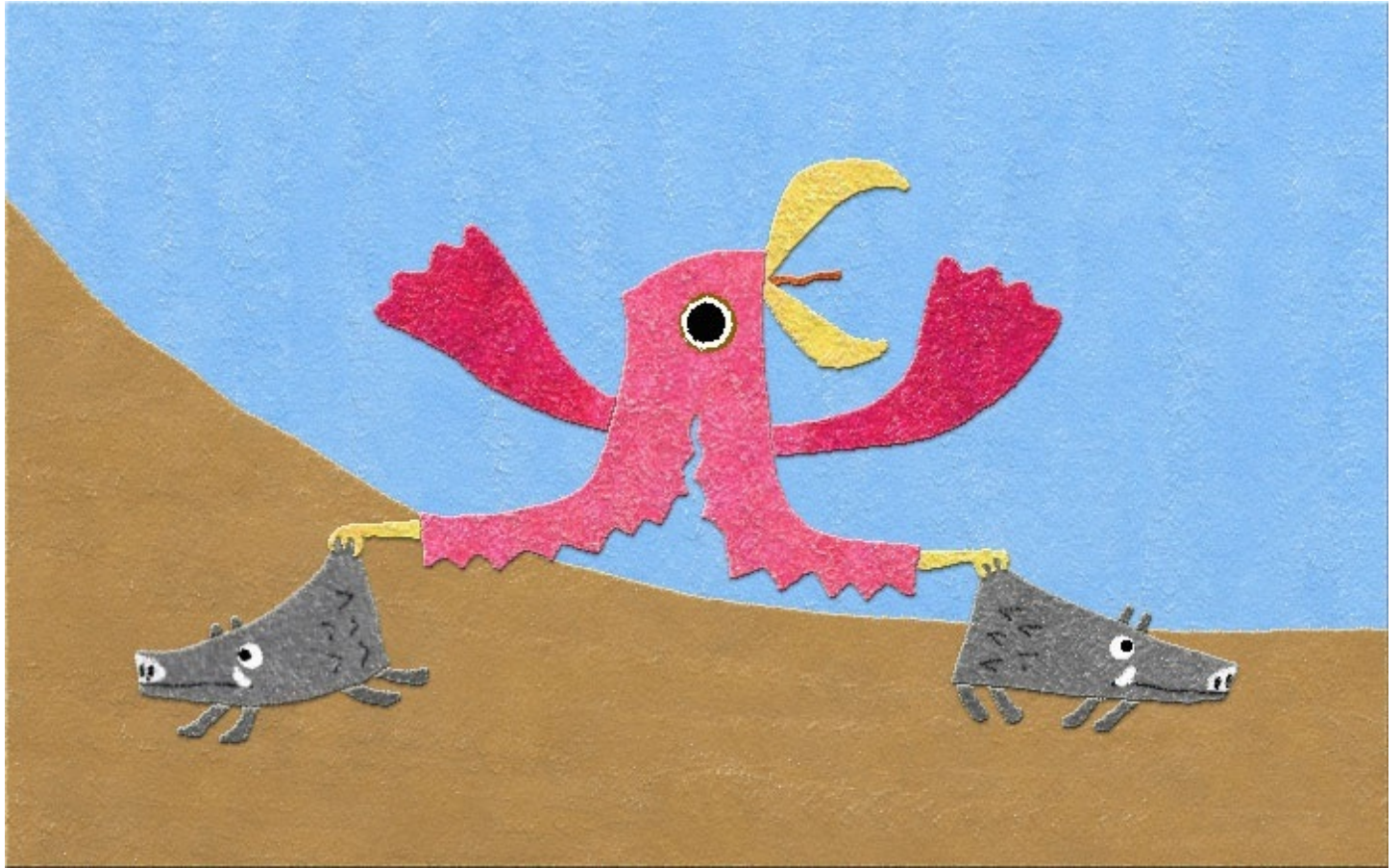
And its left talons caught the other.

・・・右と左の足を1匹ずつに掛けたら・・・



Then, the boars ran away in each indivisual direction.

．．．猪が両方へ逃げて行こうとした為に．．．



And so, this greedy Hawk-eagle split at its crotch.
(Harima province)

・ ・ ・ 欲深の熊鷹の股が裂けてしまったという話もあります。
(播磨)

後書き

改訂2版について：

英訳文を修正しました。

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 日本の昔話：2005年10月25日36刷 柳田国男著 新潮文庫
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：1975年9月15日第1刷発行 株式会社三省堂
- ジーニアス英和辞典 第5版：2014年12月25日第1刷発行 株式会社大修館書店
- 総合英語Forest(7th Edition)：2014年2月20日第7版第4刷発行 石黒昭博監修 株式会社桐原書店
- Longman Dictionary of Contemporary English: Sixth edition 2014 Pearson Education Limited
- Longman Thesaurus of American English: First published 2013 Pearson Education Limited
- Longman Study Dictionary of American English: Second edition 2011 Pearson Education Limited

C G画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）
- Facebook ページ （ソーシャルネットワークサービス）
- Pixiv （イラスト投稿サイト）
- カクヨム （小説投稿サイト）

- BOOTH （物販サイト）
- エブリスタ （小説投稿サイト）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です．

本書は著作権法により保護されています．

2015年4月29日発行

2015年5月17日改訂

2018年9月25日改訂2版

英訳昔話「ミソサザイも鷹の仲間」

<http://p.booklog.jp/book/97682>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/97682>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/97682>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ